

# 赤十字いわて

No.52  
2019 冬季号

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

**救うことを、つづける。**

**北海道胆振東部地震災害・西日本豪雨災害への対応**

日本赤十字社岩手県支部「救護班」と「こころのケア班」が被災地で活動しました！



北海道の被災地、厚真町で活動する日赤岩手県支部救護班

岩手県支部ではInstagramを始めました。  
ぜひ、フォローをお願いします。当支部ホームページをご覧ください。



日本赤十字社岩手県支部

検索 



医薬品などを持参



現地入りし、移動時に遭遇した被災家屋

## すべては被災者のために！

9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害では、発災同日に盛岡赤十字病院DMAT（災害派遣医療チーム）が北海道の被災地に向かいました。また、引き続き医療救護班を2班、こころのケア班を2班派遣し、被災者や支援者のケア活動を行いました。

こころのケアとは、災害によるストレスを受けた被災者に対して、傾聴などを通じてストレスの軽減を図るとともに、継続したケアが必要とされる場合には、地元の保健師などと連携して専門医に引き継ぐ活動です。



全国から集結した赤十字の医師・看護師  
などスタッフミーティングの様子



# 西日本豪雨災害への対応

8月9日(木)～8月16日(木)  
広島県呉市安浦まちづくりセンター



6月下旬から7月にかけて西日本を中心に広い範囲で豪雨となり、死者や行方不明者が200人を超え、国内では最大級の被害となりました。  
未だに復旧のめどが立たない地域も多く、今後も引き続き支援が必要です。  
日赤岩手県支部は、広島県へ盛岡赤十字病院こころのケア班を派遣し、現地で活動しました。



## 日本赤十字社岩手県支部創立130周年記念 岩手県赤十字大会が開催されました

▶11月2日(金) 岩手県民会館 大ホール



日本赤十字社岩手県支部は創立130周年を迎えました。記念式典当日は、赤十字関係者や一般の方を含め総勢650名が出席されました。来賓による祝辞のほか、日本赤十字社大塚副社長と日本赤十字社岩手県支部長の達増知事から、赤十字事業に貢献された個人・団体に、赤十字有功章や支部長特別表彰が授与されました。

体験発表では、県ノルディックウォーキング赤十字奉仕団委員長の太田正孝氏から被災地の仮設住宅でのノルディックウォーキングを活用した健康支援の発表と、盛岡市立城東中学校のJRC委員会の代表者2名による校内での募金活動など青少年赤十字活動が発表されました。

式典後のアトラクションでは郷土芸能が披露されました。谷地鬼剣舞(北上市)、大槌虎舞(大槌町)、氷上太鼓(陸前高田市)のそのダイナミックな踊りや太鼓の響きは会場の参列者に圧倒的な存在感を示し、大きな拍手が湧きました。

大会が無事挙行できましたことに感謝申し上げますとともに、今後も広く県民の皆さまに赤十字思想の一層の普及・定着を目指し、赤十字関連団体と連携しながら活動して参ります。



## 【東日本大震災復興支援事業】盛岡赤十字病院職場体験

▶ 8月8日(水) 盛岡赤十字病院



東日本大震災復興支援事業の一環として、沿岸被災地の中高生を対象に盛岡赤十字病院で職場体験を開催しました。宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市から88名が参加しました。

医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師の7部門で希望する職種を体験していただきました。

ご参加いただいた生徒の皆さんが、今回の体験を糧として夢を叶え、岩手の医療の一翼を担う人材になってくださることを願っています。

## 【東日本大震災復興支援事業】ノルディックウォーキングとこころのケア

▶ 平成30年度 開催回数 47回 参加者数 376人 (平成31年1月時点)

東日本大震災後、仮設住宅で暮らしている被災者の方々に訪問し、岩手県ノルディックウォーキング赤十字奉仕団の協力を得て、2本のポールを使って楽しく歩く健康支援と、「お茶っこ会」にて季節の行事を楽しむミニイベント等の交流支援により仮設住民の抱えるストレスや健康不安を軽減しています。



活動中の県ノルディックウォーキング赤十字奉仕団 太田委員長



## 【東日本大震災復興支援事業】赤十字奉仕団ふれあい交流会

▶ 平成30年度 (4月~12月) 開催回数 14回 参加者数 1,299人



沿岸被災地の仮設住宅や災害公営住宅に居住されている方々と、各赤十字奉仕団がそれぞれの特色を生かして交流会を行っています。

炊き出しや給食会をはじめ、奉仕団による舞踊や手品など芸能披露のほか、合唱や音楽に合わせた体操など地域の方々がいっしょに参加できる内容を盛り込み、少しでも笑顔になるような活動を目指しています。





## JRC (青少年赤十字) リーダーシップ・トレーニング・センター開催

▶ 7月30日(月)～8月1日(水) 国立岩手山青少年交流の家



健康安全プログラム①

小学生は、三角巾の使い方を学びました。



健康安全プログラム②

中学生は、AEDを使って心肺蘇生法に挑戦。



健康安全プログラム③

防災を学びながら、みんなで協力してゴールを目指す「いえまですごろく」に挑戦。

### 「気づき・考え・実行する」力を養いました！

今年度は県内から約90名の小中高校生が参加しました。初日、初対面のせいか緊張した面持ちで口数も少ない子どもたちでしたが、赤十字についての講義やグループワークを行い、徐々に緊張感がほぐれてきました。

2日目、小学生は赤十字の救急法指導員から包帯法の説明を受けると、短時間で上手にできるペアが目立ちます。何度もチャレンジする子どもたちを見てると将来が頼もしく思えました。中学生は、心肺蘇生法を学びました。また、フィールド・ワークでは、ポイントごとに設定された課題をチームで協力しながらこなしていきます。ここから結束力が生まれ、子どもたちの楽しそうな声や積極的に自分の意見を述べる声が聞こえてきました。

最終日はワーク・ショップとして、活動報告(感想文)の作成などまとめを行い、閉会式の後解散となりました。

猛暑が続いた夏でしたが、子どもたちは暑さのなかでも元気にプログラムをこなしました。この研修でリーダー・シップとは何かを学んだと思います。今後の生活の中で、他人任せではなく自分から行動する人になってくれることを願っています。



フィールド・ワーク

チームの団結力が試される難関ポイント



フィールド・ワーク反省会

ユーモアたっぷりに、鋭い指摘をされて盛り上がる生徒たち。



閉会式の様子

小中高生代表から感想発表の後、全員に修了証が手わたされます。



### リーダーシップ・トレーニング・センターは、JRC (青少年赤十字) の活動のひとつです。

JRC加盟校の小中高校生を対象に毎年開催しています。子どもたちが3日間、集団生活の場で自主性・自律の生活や赤十字の精神について学びを深めます。

指導スタッフの先生方をはじめ、青少年赤十字岩手県指導者協議会が中心となり、当日まで綿密に打ち合わせを行います。

初日の開会式後、様々な課題や演習を通して子どもたちが達成感に満ちた表情に変わります。先生方の熱意が報われる時です。確実に成長した子どもたちが、普段の生活で少しでも役立てくれればと願っております。



滝沢市 国立岩手山青少年交流の家  
朝の集いの様子




**NHK 海外たすけあい**  
12.1(Sat)~25(Tue)  
救うことを、つづける。  
日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

**NHK 海外たすけあい とは**  
いま世界では1億3,000万もの人びとが、紛争や自然災害・飢餓・病気などで、命の危機に直面しています。こうした人びとを救うため、毎年、日本赤十字社がNHKと共同で実施しているキャンペーンです。本キャンペーンを通じて、これまでに、世界155カ国に支援してきました。今年度は世界60の国と地域の人びとへ、皆さまからの支援をお届けします。



2018年12月1日、イオンモール盛岡南にて青年赤十字奉仕団のメンバーが、キャンペーンチラシを配布する広報活動に協力しました。

岩手県支部取り扱い分 12/1~12/25

**682件 1,618,234円**


●苦しんでいる人を救いたい。  
それはすべての人に共通する思いです

世界では、毎年1,400万人以上の方が感染症で死亡

- ・ 10億人以上の人が清潔な水を使えない
- ・ 26億人以上の人が最低限以下の衛生環境下
- ・ 50万人以上の妊婦が妊娠中や出産時に死亡

●あなたの支援でできること

2,000円 =  40本  
安全な水(2L)

3,000円 =  9枚  
ブランケット

5,000円 =  250人分  
小児用医薬品

平成30年度 国内義援金の取扱状況 義援金は“全額”被災された方々へ



お寄せいただいた義援金は全額が被災された方々のお手元に届けられます。手数料などを日本赤十字社がいただくことは一切ありません。皆さまからのあたたかいご支援に感謝申し上げます。今後とも引き続きのご協力をお願いいたします。

岩手県支部への受付状況 (H30.4月1日~12月31日現在)

名称	受付期間	件数	金額
東日本大震災義援金	H23.3.14~H31.3.31	388件	48,141,230円
平成28年熊本地震災害義援金	H28.4.15~H31.3.31	51件	19,542,626円
平成30年大阪府北部地震災害義援金	H30.6.22~H30.9.28	5件	139,112円
平成30年米原市竜巻災害義援金	H30.7.6~H30.9.28	1件	35,710円
平成30年7月豪雨災害義援金	H30.7.10~H31.6.28	38件	4,493,247円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	H30.9.11~H31.3.3	12件	590,469円